

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年12月1日

事業所名：発達支援Smile On

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	17	0	利用時の様子および人数に合わせて大きな部屋と個室を使い分けています。また必要に応じてパーテーションで空間を区切っています。時々面談や職員の作業スペースとして足りないと思うことがあるが、放デイとも連携して行えていると思う。	限られたスペースを使って工夫して療育を進めています。必要に応じて、法人内の部屋を借りるなどの対応策を進めていきます。
	② 職員の配置数は適切である	17	0	職員がお休み等で足りない場合、サポートスタッフを頼み必要な人員を配置している。利用児の様子に合わせて職員を配置することはできており、必要に応じて動くことができます。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	16	1	空間のバリアフリー化はできており、情報共有も心掛けています。イラストでの手洗い表記や、木製の白いボードを活用した活動の見える化を積極的に行っている。外は階段であるため車いすやベビーカーをご利用の方には難しいことがあります。	ベビーカーをお使いの利用者様がいらっしゃったときに、積極的にお手伝いをしてくださるのでありがとうございます。活動の見える化へのご協力ありがとうございます。情報共有も皆が心掛けてくれていると思います。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	16	1	使っている椅子、机、床がキレイであること確認しています。 必要なものだけを掲示するようしています。 掃除は丁寧に行うようしているが、コロナ時期と比べ消毒などは少し甘くなってきているように感じる。冬の感染症の時期に向けて気を付けていかなければいけないと思う。 エアコンの内部が汚れており業者による洗浄が必要と思いま (アレルギーの児もいるため)。 毎日の清掃と活動前に椅子の裏や床に危ないものがおちていなかいか確認をしている。	経年劣化で汚れが目立つ部分もありますが、皆さん気が付いて磨いたり片づけたりしてくださいます。引き続き、利用者様も職員も心地よく過ごせる環境であるように、これからも日々の清掃や整理整頓を心掛けていきたいと思います。 エアコンは職員の清掃だけでは手が届かないところなので、業者による清掃も検討していきたいと思います。
	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	17	0	定期的に面談をし、振り返りの中で改善することを改めて目標として再設定することがある。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	17	0	定期的にアンケートを実施している。アンケート内容についても真摯に受け止め改善策を職員全員で考えている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	17	0		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	15	1	すみません、わかりません。今の時点では機会がない。適宜、市・都に指示を仰ぎながら運営している。	今年度は放課後等デイサービスが評価を受けている。第三者評価があってもなくても適正な運営ができるように、業務の振り返りや記録を適切に行い、業務改善につなげていきたいと考えています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	17	0	必要に応じて研修を受けています。 研修を受けるだけでなく、研修を受けた職員から話を聞く機会もあります。 事業者内外の研修に参加させてもらっています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	17	0	様々な資格をもつ職員がアセスメントを一緒に行うため、広い視点で分析と捉えができる。 職員間の情報共有を密に行っています。 必要に応じて保護者とも面談しニーズの確認とともに情報収集をしている。合わせてアセスメントシートを使う工夫をしている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	17	0	SVを受けながらどのようなアセスメントツールを使い標準化されているのか検討、実施している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	16	1	普段自分が意識できていなかつた点であるため、確認します。	ガイドラインは受付棚に設置していますが、今一度周知すると共に、ガイドラインと計画書の対応の明確化（見える化）も進めていきたいと考えています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	17	0	時に支援計画を確認できていないときがあります。	HUGのサービス提供記録に「計画書」が反映されているので、記録記載の時に活用してほしいと思います。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	17	0	利用児と関わっている職員の意見を聞きながら次回の立案を行っています。	終礼時に当日の集団療育の様子や課題の共有が活発に実施されていると感じます。それを踏まえてプログラムを立案するというサイクルが定着しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関 係 機 関 や 保	⑯ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	17	0	安心して過ごすために継続する部分と変化していく部分を合わせて取り入れています。お子さんの変化に合わせて工夫・修正する努力をみんなでしている。	プログラムの継続や変更に際し、目的や課題点の共有・検討がなされています。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	17	0			
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	17	0	朝礼、終礼を利用して全体共有と適宜ミーティングを実施している。		
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	17	0	気づいたことは小さなことでも声かけするようになっています。		
	⑯ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	17	0			
	⑯ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	17	0			
	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	17	0			
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	17	0			
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	9	1	該当児なし	今年度、看護保健担当職員が医ケア児の相談支援研修を受けています。今後の地域連携を視野に入れています。	
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	9	1	該当児なし		
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	17	0	保護者からの希望に合わせて訪問を実施し、情報共有および相互理解を図っています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者との連携 関係機関や保護者との連携	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	17	0	適宜情報提供し、就学後の支援について共有を図っている。保護者のニーズや児の様子に応じての実施だが就学先の状況もあるため頻繁ではないです。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	16	1	他事業所との情報共有・連携は行っている。助言については大学教員SVチームより適宜受けている。	来年度開所予定の発達支援センターと、管理職レベルでは情報共有を行っています。良い関係性を作り、よりよい支援のために連携していきたいと考えています。 大学教員SVチームからの助言も引き続き広く共有して支援に活かしていきます。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8	7	行事としては設けていないが、利用児個々の所属先で大いに経験ができるいると思われる。把握できていません。保育園・幼稚園に通っている児がほとんどなので、子どもたちはインクルーシブな生活経験をもっている。職員は訪問や研修で障害のない子どもと関わる機会をもつている。	
	㉙	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	14	0	分かりません。詳しくは把握できていません。	施設長・児発管が毎回参加しています。職員会議(全体会)にて共有し、回覧も行っています。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	17	0	保護者の様子を見ながら伝える内容や伝え方を相談して伝えるようにしています。りょういくを見て頂いたり口頭でのお伝えとHUGを使って記録として保護者と共有している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への 説明責任等	①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）の支援を行っている	17	0	保護者に直接お伝えするだけではなく、自分自身が関わる見本となるように心掛けています。親子療育を実施し、事前事後に保護者の考え方や現状の児の様子の聞き取りを行っている。把握できていません。今年度から親子療育をスタートし、必要な方にご案内・実施している。親子療育では、療育内で見られた親の望ましい声かけ、対応について肯定的フィードバックを行っている。	今年度から親子療育を実施しています。ニーズが増えていると感じているため、今後はスタッフを育成しながら実施できる対象者を増やしていきたいと思います。 必要な時はSVを受けている大学教員の助言を受けながら保護者支援を進めています。
	②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	17	0		
	③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	17	0		
	④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	16	0	必要に応じて別日で面談を設定するなど子育ての悩み等を聞き取りするようにしています。	
	⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	17	0	特に今年度は親子お楽しみ会を開催したり、あゆみの会が発足されたりと保護者同士が関わる場を広げられてよう思います。今年度より父母会を設立、保護者向け座談会を実施している。	
	⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	17	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	③⁷	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	17	0		
	③⁸	個人情報の取扱いに十分注意している	17	0		
	③⁹	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	17	0	記録を残し保護者への対応を共有している。	
	③⁹	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	6	同法人に幼・保があることから、通所していないご家族の方々にも知つてもらえてるようには思われ、開かれた事業にはなつてると考えます。分かりません。11月に初めて地域向けイベントを行うことになつていています。	同法人の会場(MINNADE)を利用し、地域の親子向けイベントを開催しました。第2回も計画しており、来年度も継続していく予定です。
	④¹¹	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	16	0	存在はしていると思うが、私自身があまり把握できていません。	各職員が常に参照できるよう配布していますので、適宜確認して頂けるよう周知していきます。避難訓練は毎月実施しています。
	④¹²	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	17	0		
	④¹³	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	14	2	服薬状況や持病がある場合の周知を徹底した方がよいと思う。把握できていません。利用開始の時には確認しているが、日々の記憶にまで残っていないこともありますので、アレルギー含め、配慮が必要なお子さん一覧があると良いかもしれません。	保護者からの聞き取りを確実に行えるよう、服薬や発作情報を含めた緊急連絡票を作成し、9割程回収しています。来年度も引き続きご協力いただけれるようお願いしていきたいと思います。また、マニュアルを配布しています。内容を確認いただく事を再度周知するとともに、読み合わせや質疑応答の機会を増やしてまいります。
	④¹⁴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11	2	把握できていません。指示書については自分の確認不足でした。	現在、医師の指示書による対応が必要な該当児はいませんが、必要な場合には看護師・ST(言語聴覚士)が中心となって対応しています。
	④¹⁵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	17	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
(46)		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	17	0		
(47)		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	12	2	<p>分かりません。 職員間でも、想定される場面でどの程度の身体拘束を行うのか、未然に防ぐための環境や方法を検討している。契約時に説明しているが、必要性が想定される児童がいない為計画書への記載はしていない。 計画会議の中でその点について触れられていなかったので今後気をつけます。そのような機会がない。</p>	<p>該当ケースはありませんが、虐待研修の事例検討の中で「小さな出来事」として取り上げています。参加していない職員への周知も今後行つていきたいと思います。 今後は必要な場合を想定した説明や計画書への繋続を検討していきたいと思います。</p>

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。